

ゆめーる・かほく 「中学校版」

2013. 11. 6
No. 13
山鹿市教育委員会
教育総務課
鹿北中学校

山鹿市中体連駅伝大会

十月二十二日に、山鹿市カルチャースポーツセンター周辺にて、山鹿市中体連駅伝大会がありました。男子が四位、女子が五位という結果でした。地道に努力を続け、試走を重ねることで、大会当日は見事な走りを見せていました。この良い雰囲気は、朝のランニング活動に受け継がれています。朝から鹿北中学生が走る姿を見ると、元気がもらえます。体力向上推進優秀校を受賞し、子どもたちも自信とプライドを持っています。



【生徒の感想】

○練習を始めた時期から大会当日まで、だれ一人として欠けることなく全員で迎えられたことを、本当に嬉しく思います。練習がきつかったり、思うようにタイムが伸びなかったりして、途中で投げ出したくなるときもありました。しかし、みんながいてくれたから、最後まで頑張ることができました。これからは勉強に気持ちを切り替えて、しっかりと取り組んでいきたいです。(三年男子)

○速い人についていけない不安なこともありましたが、友だちの励ましの声や私の背中を押してくれました。駅伝を通して、友だちや先生、家族など支えてもらっている人たちへの感謝、努力すれば結果がついてくることを改めて感じました。(三年女子)

第二回交流給食

十月二十三日に、交流給食の二回目が行われました。二年生が小学校のランチルームに行き、三年・四年生が中学校のランチルームにきました。



子どもたちは、食事を済ませたあと、「何ですか?」「好きな食べ物は何ですか?」など、お互いに聞き合っていました。初めは照れくさそうでしたが、次第に会話が弾んでいきました。

清流祭で、二年生の田中彩加さんが「鹿北中学校をもっと活性化するために」という題で弁論をした中に、「小学校との交流を積極的にしたい」とありました。交流給食も、その絶好の機会の一つだと考えます。これからも、続けていきたいと思っています。

進路を考える

十月三十日に、本校体育館で高校説明会がありました。鹿本高校、鹿本農業高校、鹿本商工高校、城北高校、専修大学玉名高校の五校の先生方に学校の特色などの情報を提供していただくことで、進路に対する意識を高め、確かな目標を持ち、望ましい進路選択につなげたいと考えました。子どもたちは、しっかりと顔を上げて真剣に聞いていました。



【生徒の感想】

私は、今まで中学卒業後の進路について、あまり深く考えたことがありませんでした。しかし、高校の先生方や先輩方の話を聞いて、各高校の魅力がとても伝わりました。少しずつ自分と向き合いながら考えていきたいです。(二年女子)

薬物の恐ろしさ

十月三十一日に、薬物乱用防止教室がありました。目的は、心身の発育・発達の著しい中学生にとつての喫煙・飲酒・薬物乱用による悪影響を考慮し、専門家の指導を受け、意志決定能力を高めるためです。学校薬剤師の大森先生から、薬物の実態、作用、身近な例の主な三点について話をしていたのですが、薬物の危険性や依存性について、ぜひご家庭でも話していただけたらと思います。

【生徒の感想】

薬物を一度でも使用すると、何も良いことがないということが分かりました。体だけではなく、心も傷つくのだということを知りました。僕は将来、薬物を乱用することとは絶対にはなと思っています。(一年男子)